

## 74歳のハッピー・バースデー!

2010年の2月にアメリカの友人たちに招待されてねえ、ラスベガスに行ったみたい。それで18日、19日、20日と3日間も続けて誕生日ば祝ってもらうたもんね。18日は1997年の「第4回カントリー・サンシャイン」にゲスト出演してもらうたタミー・グラハムと夫のアーニー、彼は当時タミーのマネジャーだったもんね。それとジュディの3人が、トビー・キースの経営する店「I love this bar & Grill」で夕食ばご馳走してくれて祝ってくれたったい。19日はアーニーの案内でラスベガス郊外にある素敵な店「B.J.'s」でジュディのお友達を交えて再びお祝いしてもらうた。

そして20日の僕の74回目の誕生日は、何とブラッドの全米ツアー「American Saturday Night Tour」の日たい。会場はマンダレイ・ベイ・リゾート・ホテルの巨大アリーナたい。このホテルは僕が「ジム・リープス賞」ばもらうたときの会場たい。

ブラッドは僕のために最高の席ば用意してくれてね。そしてアンコールで「Welcome to the Future」ば歌ってくれたったい。ステージのバックスクリーンのだ真ん中に、僕とキャノンボールのGTCでの演奏風景なんか七回も大きく出てきたもんね。それば見とると、もう言葉はなかないね……。

終了後控え室に招かれて、ブラッドをはじめバンドメンバーやマネージャー、スタッフ全員がハッピー・バースデーば歌ってくれてね、2人がかりで運んできた大きかケーキには「Happy Birthday Charlie」て書かれあつとたい。キャンドルば吹き消しながら心の中ではほんとと涙、涙だったとよ。僕にとっては生涯初めてアメリカで迎えた誕生日だった……。

ブラッドのバンドのベースのケニーとフィドルのジャスティンも僕との再会ば喜んでくれてねえ。カントリー・ゴールド終了後に、GTCのバーカウンターで遅くまでママと「I saw the light」ば何度も繰り返し歌って大喜びしとったケニー、店が終わったあとも最後のひとりとして残って余韻を楽しんどったジャスティン。それにGTCのステージで唄い終わったあと僕にギターばプレゼントしてくれたブラッド……。

ほんなこつ優しかったい。彼らとの思い出は忘れられんたい。

\*



ブラッドが僕にプレゼントしてくれたギターがこれ。



「American Saturday Night Tour」の書き割りの前で。